

# 狂言と舞囃子

第八回久良岐まつり(能舞台プレイベント)

平成26年10月18日(土)

開演：13:30(開場:13:00)

会場：横浜市能楽堂 久良岐能舞台  
(横浜市磯子区岡村8-21-7)

参加料：2,000円(全席自由)  
保護者同伴の中学生以下無料

## 【番組】

狂言「鐘の音」(小笠原 匡/河野 佑紀)

～狂言のお話～

舞囃子「神楽」

(シテ 内田 成信/笛 寺井宏明/小鼓 岡本はる奈/大鼓 大倉崇太郎/太鼓 大川典良)

～ミニ謡体験「狸々」～

居囃子「松風」

## 【ご予約・お問合せ】

☎045-761-3854 (受付:10:00～17:00)

URL : <http://www.kuraki-noh.jp> (インターネットからもお申込頂けます)

【主催】横浜市能楽堂久良岐能舞台

【後援】横浜市文化観光局



© jun yamamoto

ほんにゃん  
久良岐能舞台PRキャラクター

狂言と能を合わせて能楽と言います。能が主に夢や幻等といった世界をモチーフにした比較的シリアスな世界を描くのに対し、狂言は日常的な題材を面白可笑しく描きだします。本公演は狂言の可笑しみ、能の幽玄、その一番オイシイ部分を初めての方にも十分にお楽しみ頂けるようにしております。

### 狂言 「鐘の音」

主人から鎌倉へ行って「金の値」を訊いてくるように言われた太郎冠者。しかし、何を思ったか彼は鎌倉の寺々を回っては「鐘の音」を聴き比べて帰ってきた。主人に各寺の鐘の特徴を報告する太郎冠者。合点のいかない主人は怒り彼を追い出してしまう。主人の赦しを得るために彼が取った行動とは？  
寿福寺、極楽寺、建長寺…神奈川県民にとっては身近な鎌倉のお寺が出て来るお話。どうぞ、ごゆっくりお楽しみください。

### 舞囃子 「神楽」

巫女が神に奉納する舞、「神楽」。能においては、これを舞ううちに舞手(シテ)に神が乗り移ると言われています。本公演では、前半が巫女の舞、後半が神の舞となっており、笛の旋律の変化によって舞手の神性の変化を感じて頂けたらと思います。

### 居囃子 「松風」

和歌の世界において、「松」は「待つ」を連想させる言葉です。須磨の浦(現在の神戸市須磨区)に中納言・在原行平の帰りをひたすら待つ、松風と言う名の女性がおりました。彼女は、「立ち別れ 因幡の山の峰に生ふる 松(待つ)とし聞かば帰りこむ」と言う歌を頼みに行平の帰りを待ち続け、その身が幽霊となっても約束の松を離れる事が出来なくなってしまいました。「どうかこの苦しみから救って!!」彼女は僧に弔いを頼みます。朝霧に紛れ消えゆく松風。「昨夜の事は夢か幻か…」そこには浜辺を吹く風の音が聞こえるばかり。能独特の夢幻の世界をオリジナル解説付きでどうぞ、お楽しみください。

### 舞囃子とは？

一曲の主要な部分を紋服(紋付き袴)姿で地謡と囃子(笛、小鼓、大鼓、太鼓)を伴って舞う事を「舞囃子」と言い、能楽における略式の演奏形式の事を指します。この形式では作り物や太刀、笠、鏡等の小道具は用いず、全て扇を用いてそれらの代用とします。但し、演目によっては杖や長刀を用いる事があります。

### 居囃子とは？

舞囃子と同じく略式の演奏形式を指します。一曲の主要部分を抜粋して上演するのは舞囃子と同様ですが、この形式においてはシテの舞も省略され、囃子方だけの演奏により演目が進行され、謡も囃子方も着座し、紋服姿のまま演奏します。

### 【ご注意】

駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用くださいませ。

### 【バス発車時刻】

最寄駅	発車時刻		
京浜急行「上大岡駅」	12:41(12)	12:58(2)	12:59(12)
JR根岸線「磯子駅」	12:20(2)	12:25(2)	12:50(2)
京浜急行「屏風浦駅」	12:24(3)	12:25(3)	12:55(3)

※バスの時刻は予告なく改訂される場合がございますので、予めご了承願います。  
詳細は各運行会社へお問い合わせください。  
※上大岡からの64系統、港64系統の「磯子駅前行」は乗場がバスターミナルの外、鎌倉街道沿いにご覧いただけますので、ご注意願います。  
※全ての駅から所要時間は約10-20分。「笹塚」下車。下車後、徒歩7分程度(上大岡からのバスが最短です)。  
※( )内数は乗り場番号を示しています。  
※タクシーをご利用の場合：京急上大岡駅東口乗車約5分。(800円程度)

